

宮城県内企業と連携して技術高度化に貢献 海外展示会出展で世界に向け情報発信

2009年に設立。医療現場の人手不足に対応するため、採血等の自動化をととして各病院の医療サービスの拡充を目指す。採血管搬送ロボット、採血管準備装置などの製品の企画、開発、販売を行う。現在は中国、トルコ、スペイン、インド、台湾、ベトナム、韓国等へ輸出しており、特に韓国は国内最大規模の病院であるサムソンメディカルセンターへ大型採血管準備装置などを納品している。今後は中東、ロシア、東欧、南米地域への輸出を検討している。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 宮城県仙台市青葉区五橋1-4-24
ライオンズビル五橋 6F | ● 設立 | 2009年 |
| ● 電話/FAX | 022-397-9370/022-397-9371 | ● 資本金 | 2,890万円 |
| ● URL | http://olpaso.co.jp | ● 従業員数 | 5人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 佐藤 満 | | |



営業戦略として海外の医療機器展示会に積極的に出展

海外医療展示会に積極的に出展し、企業姿勢や商品価値などの情報を世界に向けて発信している。海外の展示会出展が功を奏して7カ国の企業と代理店契約の締結に至ったほか、新規の引き合いも多くなっている。このような営業戦略の結果、中国をはじめとして韓国、ベトナム、台湾の大病院への導入につながった。具体例として韓国では500床以上を保有する大規模病院や、ハノイでは軍関係の最大規模の病院へ導入されている。台湾では公立の大規模病院へ導入されており、今後もアジアを中心に導入が予定されている。



医療機器展示会

仕入れ・製造など地元企業と連携し、技術高度化にも尽力

部品調達は地元企業からの仕入れをメインとし、製造・生産管理も地元企業に委託している。これは各種コストを最小限に抑えることだけでなく、生産性を高めて地元経済の活性化や協力関係の確立に寄与している。また、県内企業の技術高度化および経営の革新を図り、高度電子機械市場における取引の創出・拡大を目指す「みやぎ高度電子機械産業振興協議会」に加盟。県が進める人材確保・育成施策や技術研究開発施策、企業誘致施策など、高度電子機械産業の集積を目指した活動にも積極的に参画している。



製造現場

消費者ニーズに合った製品、印字機能を充実させる製品を開発

代理店との連携を生かし、複数回各国の消費者ニーズ調査を実施している。使用環境や病院規模に合わせたサイズ設計・仕様を提案することで、ユーザーのニーズに合った製品開発を行っている。特に印字機能を充実させる製品を開発している。具体的には自由にフォントを入力できるように設定することで、例えば日本語ではなく、その国の言語で結果を表示する機能を開発。このような取組みが幅広いユーザーから支持されている。また、独自に海外販路を開拓・拡充し、順調に黒字経営を継続している。



印字機能充実させる製品